

「保健医療科学」  
第63巻 第5号 予告

特集：特定健診・特定保健指導の評価とPDCA（仮題）

データヘルスの実践に向けたPDCAに基づく特定健診・保健指導の進め方（仮題）……………	横山徹爾
PDCAに基づく特定健診2万人のデータの活用（仮題）……………	津下一代
PDCAに基づく尼崎市の取り組み（仮題）……………	野口緑
PDCAに基づくKDBの活用（仮題）……………	鎌形喜代
Cから始まるPDCAの勧め（仮題）……………	今井博久

編 集 後 記

建築といえば一般にその外観や内装などに目が向きやすい。もちろん周囲の景観などを考慮すれば少なくとも外観は非常に重要である。しかし、それを利用する人間の健康にとっては、いわゆる見かけ上のことよりも衛生環境や快適性が重要であることはいうまでもない。建築は、周囲の環境、人間の健康、災害対策、社会的ニーズなど多くの側面のバランスの上に成り立つものである。

本特集では、保健医療分野の課題の1つとして継続的に考えていかなければならないテーマである「建築衛生」について、これまでの研究や実例に基づいて様々な観点から解説されている。建築は、技術革新や社会的ニーズの変化に応じて時代とともに多様な要素の影響を受けて変化している。本特集の内容は、「人間の健康を守る」という観点から建築のあり方を再認識するうえで非常に貴重な情報を提供している。

建築は、我々が日々の暮らしを送る生活空間の中で大きな位置を占めており、その衛生管理は、健全な生活環境を確保するうえで必要不可欠なことである。保健医療従事者だけでなく建築にかかわる多くの関係者が建築を利用する人間側の立場に立って建築環境のあり方を考えていただければと思う。

（研究情報支援研究センター 緒方裕光）